

千葉県内における若年就労困難者支援に関する実態調査

公益財団法人ちばのWA地域づくり基金
千葉大学大学院人文科学研究院 清水洋行研究室

公益財団法人ちばのWA地域づくり基金では、休眠預金活用事業「若年就労困難者のための包括的就労支援事業」の資金分配団体として、千葉県内における若年就労困難者支援に関する事業の実施状況を把握するため、本調査を実施いたします。

本調査では、日々現場で支援にあたられている皆様のお声をもとに、千葉県内における若年就労困難者支援の実態及び課題を把握し、その成果を地域における包括的就労支援の充実に役立てたいと考えております。ご多用のところ恐れ入りますが、本調査の趣旨にご理解いただき、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

- 本調査は、公益財団法人ちばのWA地域づくり基金が千葉大学大学院人文科学研究院 清水洋行研究室の協力を得て実施するものです。
- 以下いずれかの方法でご回答ください。
 - ①同封の調査票にご記入の上、同封の返信用封筒に入れてご返送ください。
 - ②アンケートフォーム(下記 URL・二次元コードよりご回答ください)

URL <https://forms.office.com/r/tQJhDxfHBz>



調査票は、ちばのWA地域づくり基金のHPからもダウンロードできます。「おしらせ」→「アンケート調査票のダウンロードはこちらから」とお進みください。アンケートフォームも同じページからアクセスできます。

- ご回答いただいた内容は統計的に処理され、自治体・団体を特定する情報が公開されることはありません。
- 本調査票では、「若年就労困難者」を、以下のように、特定の制度上の区分や診断の有無によって限定するものではなく、「働きづらさ」や「就労に向かう過程での困難」を抱える若者を広く含む言葉として用います。

【年齢】15歳～39歳頃

【状態】働きたい意欲がありながらも、心身の不調、生活環境、対人関係、社会参加経験の不足、障害や発達特性、ひきこもり状態、生活困窮、離職の繰り返し等、様々な要因により、就労や就労継続に困難を抱える状態。

はじめに本調査票で回答する事業の概略についておたずねします。

問1 本調査にご回答いただく機関・団体名をご記入ください。自治体が実施している場合は、市町村等の名称および部・課名等をご記入ください。

--

問2 本調査でご回答いただく事業名を記入してください。

複数の事業を実施されている場合や、同様の事業を別々の自治体から委託等を受けている場合は、別紙または別フォームにて事業ごとに回答をお願いいたします。

--

問3 問2で記入された事業（以下、「本事業」とします）は、どのように実施されていますか。次の中で該当するものを1つ選んでください。

1. 問 1 に記入した部や課が実施 →問 5 へ進む	4. 自治体からの補助事業
2. 自治体が直営している機関が実施	5. 自主事業
3. 自治体からの委託事業	6. その他 ()

問4 【問3で2～6.のいずれかに○をつけた方へおたずねします】本事業の所管（自治体の部署など）を記入してください。

--

問5 貴機関・団体が本事業を開始した年度を回答欄に記入してください。また、自主事業として開始し、現在は委託事業等になった場合は、委託事業等になった年度を記入してください。

西暦（ ）年度から

問 10 若年就労困難者支援における貴機関・団体の強みは何だと考えますか。次の中から該当するものに3つまで○をつけてください。(○は3つまで)

1. 本人との関係づくり	7. 支援スタッフの専門性や経験
2. 家族との関係づくり	8. 広報
3. 自治体との連携、自治体が実施している	9. 知名度
4. 他の支援機関や学校・病院等の関係機関との関係づくりや連携	10. 立地の良さ
5. 地域住民・団体との関係づくりや連携	11. その他 ()
6. 受入企業との関係づくりや連携	12. 特にない
	13. わからない

問 11 本事業の成果として、若年就労困難者のどのような変化を重視していますか。次の中で主なものに3つまで○をつけてください。(主なものを3つまで)

1. 就職・就労につながる	8. 家族関係の改善
2. 就労の継続や定着	9. 心身の健康状態
3. 就労意欲の向上	10. 対人関係・コミュニケーション能力の向上
4. 生活リズムの改善	11. 支援機関と継続的な関係を保つ
5. 生活環境の改善	12. その他 ()
6. 社会参加につながる	13. 特に定めていない
7. 自己理解・自己肯定感の向上	

本事業で支援している若者についておたずねします。

問 12 本事業で実際に支援している若者にはどのような方が多いですか。次の中で主なものに○をつけてください。(主なものに○。複数選択可)

1. 不登校経験がある	8. 外国にルーツをもつ
2. ひきこもり経験がある	9. 社会的孤立状態にある
3. 障害(精神・発達・身体・知的等)がある	10. 家族関係に課題を抱える
4. 生活困窮状態にある	11. DV・虐待の経験がある
5. 離職・転職を繰り返している	12. ヤングケアラー経験がある
6. 就職後の定着に困難を抱える	13. その他 ()
7. 社会参加や対人関係に困難を抱える	

問 13 本事業の利用者について、割合が最も多い年代を 1 つ選んでください。

1. 10 代	4. 40 代
2. 20 代	5. その他 ()
3. 30 代	6. わからない

問 14 本事業の 1 年間の利用者の延べ人数 (2024 年度または 2025 年度) を教えてください。

延べ 約 人

問 15 過去 3 年間における本事業の若年就労困難者 (15 歳～39 歳) の利用者数の変化について、次の中で最も近いものを 1 つ選んでください。

1. とても増加している	4. 減少している
2. 増加している	5. とても減少している
3. ほぼ変化していない	6. わからない

問 16 本事業で、若年就労困難者を最初に把握するきっかけ (初期接点) は何が多いですか。次の中で主なものに○をつけてください。(主なものに○。複数選択可)

1. 本人から	7. 地域住民・民生委員等から
2. 家族から	8. 民間支援団体 (NPO 等) から
3. 学校・教育機関から	9. 企業から
4. 就労支援機関 (ハローワーク等) から	10. 自治体から
5. 福祉機関から	11. その他 ()
6. 医療機関から	

問 17 支援対象の若者が、本事業の利用開始につながりにくい要因・原因は何ですか。次の中で主なものに○をつけてください。(主なものに○。複数選択可)

1. 就労に関して本人が困っていると感じていない	6. 家族等の支援がない、理解がない
2. 就労意欲がない	7. 相談機関と接点がない
3. 支援利用に対する本人の同意・理解がない	8. 学校・福祉・医療等から紹介がない
4. 障害福祉等の制度を利用していない	9. 地域とつながっていない
5. 過去に就労支援の利用経験がない	10. その他 ()
	11. わからない

問 18 本事業において、若者が支援を継続して利用することが難しくなる要因・原因は何ですか。次の中で主なものに○をつけてください。（主なものに○。複数選択可）

1. 就労に関して本人が困っていると感じていない 2. 就労意欲がない 3. 支援利用に対する本人の同意・理解がない 4. 家族等の支援がない、理解がない 5. 支援機関のサービス内容が合わない	6. 支援者との相性が悪い 7. 本人の経済的な問題 8. 距離的な問題（家から遠いなど） 9. 利用者と同年代がいらない 10. その他（ ） 11. わからない
---	--

問 19 本事業の支援が必要でありながら支援が届いていない若者はいますか。次の中で該当するものを1つ選んでください。また、1. に○をつけた場合は、およその人数を記入してください。

1. 実際に把握している若者がいる → およそ（ ）人
2. 人数は不明だが認識している
3. いない → 問 22 へ進む
4. わからない → 問 22 へ進む

問 20 【問 19 で 1. または 2. を選択した方へお聞きします】本事業で、支援が届いていない、または支援につながりにくい若年就労困難者はどのような方ですか。（自由記述）

--

問 21 【問 19 で 1. または 2. を選択した方へお聞きします】支援が届いていない若者をどのように認識・把握していますか。次の中で主なものに○をつけてください。
(主なものに○。複数選択可)

1. 家族を通じて	6. スタッフの知人を通じて
2. 他の支援機関を通じて	7. 地域住民を通じて
3. 民生委員・児童委員を通じて	8. 地域で見かける
4. 学校を通じて	9. 所管課を通じて
5. 医療機関を通じて	10. その他（ ）

他の機関・団体との連携についておたずねします。

問 22 本事業の実施にあたり、他の機関・団体とどのような連携を行っていますか。次の中から該当するものに○をつけてください。(複数選択可)

1. 支援対象者の紹介・つなぎ(相互紹介を含む)	5. イベント・セミナー等の共同開催
2. 支援対象者の掘り起こし	6. 就労先・体験先の開拓や紹介
3. ケース会議・情報共有	7. 地域づくり
4. 共同での支援実施(伴走支援、プログラム等)	8. 支援機関同士のネットワークづくり
	9. その他()
	10. 特に連携は行っていない → 問 24 へ

問 23 本事業の実施にあたり、連携している主な機関・団体を教えてください。次の中から該当するものに○をつけてください。(複数選択可)

1. 就労支援を行う NPO・一般社団法人・社会福祉法人等	10. 地域企業・事業者・経済団体
2. ハローワーク	11. 自治会・町会
3. 地域若者サポートステーション	12. 民生委員・児童委員
4. ジョブカフェ	13. 就労支援以外の NPO・一般社団法人・社会福祉法人等
5. 障害者就業・生活支援センター	14. 社会福祉協議会
6. 中核地域生活支援センター	15. 自治体(庁内の他部署を含む)
7. 教育機関(学校等)	16. その他()
8. 医療機関	17. 特にない → 問 26 へ
9. 障害福祉サービス事業所	

問 24 本事業の実施にあたり、他の機関・団体との連携において、課題となっていることは何ですか。次の中から該当するものに3つまで○をつけてください。(○は3つまで)

1. 連携先となり得る機関・団体が地域にない	5. 連携先と支援方針・考え方の違いがある
2. 連携先となり得る機関・団体の情報が不足している	6. 連携や調整の負担が大きい
3. 連携先との情報共有が難しい(個人情報等を含む)	7. 連携や調整のための予算や人員が不足している
4. 連携先との役割分担が不明確である	8. その他()
	9. 特に課題はない

問 25 本事業の実施にあたり、主にどのような人が他の機関・団体との連携や調整を行っていますか。次の中で該当するものを 1 つ選んでください。

1. 決まった担当者がある (役職名：)	2. 担当者は決めていないが、必要に応じて対応している
--------------------------	-----------------------------

今後の取り組みについておたずねします。

問 26 本事業において、現在不足している、または今後の強化が必要だと感じる支援は何ですか。次の中で主なものに○をつけてください。(主なものに○。複数選択可)

1. 生活相談	9. 支援付き就労の場の提供
2. 心理相談	10. 求人紹介・マッチング支援
3. 就労相談(進路・就職・働き方相談等)	11. 就職後の定着支援(相談、フォローアップ等)
4. 居場所・社会参加支援	12. 家族支援・保護者相談
5. 適正検査	13. 起業・創業支援
6. 職業訓練・スキル習得	14. その他()
7. 職場見学・職場体験・インターンシップ	15. 特になし → 問 29 へ進む
8. 就職活動支援(応募書類、面接支援等)	

問 27 問 26 で○をつけた支援の中で、今後、他の機関・団体との連携を通じて強化したいと考えている支援は何ですか。次の中で主なものに○をつけてください。(主なものに○。複数選択可)

1. 生活相談	9. 支援付き就労の場の提供
2. 心理相談	10. 求人紹介・マッチング支援
3. 就労相談(進路・就職・働き方相談等)	11. 就職後の定着支援(相談、フォローアップ等)
4. 居場所・社会参加支援	12. 家族支援・保護者相談
5. 適正検査	13. 起業・創業支援
6. 職業訓練・スキル習得	14. その他()
7. 職場見学・職場体験・インターンシップ	15. 特になし
8. 就職活動支援(応募書類、面接支援等)	

問 28 問 26 で○をつけた支援を強化していくために、今後、どのような機関・団体と新たに連携したり、これまでの連携を強化したりしたいですか。次の中から該当するものに○をつけてください。(複数選択可)

1. 就労支援を行う NPO・一般社団法人・社会福祉法人等	10. 地域企業・事業者・経済団体
2. ハローワーク	11. 自治会・町会
3. 地域若者サポートステーション	12. 民生委員・児童委員
4. ジョブカフェ	13. 就労支援以外の NPO・一般社団法人・社会福祉法人等
5. 障害者就業・生活支援センター	14. 社会福祉協議会
6. 中核地域生活支援センター	15. 自治体（庁内の他部署を含む）
7. 教育機関（学校等）	16. その他（ ）
8. 医療機関	17. 特にない
9. 障害福祉サービス事業所	

問 29 若年就労困難者への支援について、これまでのご回答のほかに現在感じている課題や、今後必要だと考える支援・連携等がありましたら自由にご記入ください。(自由記述)

ご協力ありがとうございました。